

議 事 概 要

会議名	平成28年度 第12回 海津市地域公共交通会議
日時	平成29年1月13日（金）13：30～14：30
場所	海津市役所東館 4階 災害対策本部室
出席者	委員18名 大垣市、桑名市、養老町、輪之内町各1名 事務局8名（市民活動推進課4名、商工観光課2名、ランドブレイン(株)1名）
議題等	議題1 木曾三川公園線の廃止について 議題2 海津市コミュニティバス利用状況について（報告） 議題3 事業評価について その他
議事概要	

議題

【議題1】木曾三川公園線の廃止について

○事務局（商工観光課）からの説明（資料1に基づき説明）

○委員からの質問・回答、意見等

・土曜日、日曜日の運行は、デマンドとコミュニティバスが運行されていますか。
→コミュニティバスは南幹線があり、3便と2便があります。デマンドバスについては、土日は運行されていません。今後、増やしていただけるかどうかについても協議させていただきたい。養老鉄道もありますので、養老鉄道からのピストン輸送も含めて、イベントに利用される方のご意見をお伺いしながら、より良いイベントを開催したいと思っています。

・廃止される理由もわかりますが、それに替わる運行方法を提示してあげる事が、大事だと思っています。チューリップ祭りを楽しみにしているお客さんが多いかと思えますので、行く方法を提示することが大事だと思います。

→本年度もコミュニティバスとデマンドバスを一緒に走らせていただきますが、コミュニティバスはこういう形でという事で、例えば、乗換えが、養老鉄道の駒野駅から2便、石津駅から3便、それに帰りの時刻表等を示させていただく予定です。市報にも掲載したいと考えています。

関係市町の意見

- ・今回の木曾三川公園線の廃止は、市民の利用に影響はないと考えておりますので、特に意見はありません。
- ・バスの運行のみなので、特にありません。
- ・特に影響はないと思います。
- ・特にありません。

○原案のとおり承認

【議題2】海津市コミュニティバス利用状況について（報告）

○事務局からの説明（資料2に基づき説明）

○委員からの質問・回答、意見等

・定時定路線の中で、定期の利用が減少しましたが、その原因として高校生の利用が減ったということですが、その高校生の方々は何を利用しているのか、お調べになれますか。運賃が上がったので、使い勝手が悪くなったという意見を聞きますが、どう思われますか。

→高校生の利用が減ったということについて、事務局が把握している所では、お母さんの送り迎えということも聞いています。また、単純に生徒数が減ったということも確認しています。駒野駅からの利用は変わっていません。特に変わった事は、朝の海津羽島線の岐阜方面へ行かれる高校生の利用が減っています。これが大きな理由と把握しています。

運賃の収入状況について、報告します。平成 27 年 10 月までの運賃の年間収入は約 700 万円位でした。今回値上げして 1 年ですが、運賃収入は 1640 万円位でした。約 2 倍に増えています。市からコミュニティバスの運行に対する負担金は、再編前に約 1 億円、再編後 1 年間で約 9000 万円の予定です。収支率は 20%にも満たない状況です。

・高齢者の交通事故が多発しています。周りでも怖いねという意見を聞きます。ですから、車に替わる公共交通がもっと充実するといいなと思っていますので、皆さんで知恵を出し合っていければ良いと思います。

・値上げすれば、利用者が逸走するというのは当たり前です。数字的には、海津市は健闘していると思っています。デマンドが 300 円になりましたが、運賃が上がったという事で、デマンド交通の人は新たな需要なのか、これまでバスに乗っていた人が引き続きデマンド交通になったのか、デマンド交通をやめて他の手段になったのか、わかりますか。多分、デマンドは、新規の需要が入っていて、今まで 100 円、50 円で乗っていた方が減少したとか、データがないのでしょうか。お聞きしたい。デマンドを利用した方々の情報を機会があれば、調べて教えていただきたいと思います。デマンドを値上げしたので、収支がどうなったか、今後どうされるのか等報告してもらえればよかったと思います。

→把握した資料は作っていませんが、再編前にバスを利用していた方が、どうなったかを知りたかったので、運転手さんにもお聞きしましたが、多くの方は以前からバスを使っていた人で、そのままデマンド交通に移行している人です。やめてしまった方は 0 ではありませんが。新規のお客さんからの電話もあり、登録も増えていますので、新規の方が今後増えてくるとしています。

運賃の話ですが、収支率が 20%もいってない状況ですが、企画切符等を検討しながら利用者増を図っていきたいと考えています。一日乗車券等も作りたいと考えています。

【議題 3】事業評価について

○事務局からの説明（資料 3 に基づき説明）

質疑等なし

○原案のとおり承認

【その他】

○事務局から報告

- ・本日、配布させていただきました「参考資料」でございますが、平成 28 年 12 月 2 日に開催された養老線地域公共交通再生協議会での資料でございます。

沿線市町及び関係者で法定協議会である「養老線地域公共交通再生協議会」では、「地域公共交通網形成計画」「鉄道事業再構築実施計画」の策定に向けて、アンケート調査等を実施し、4月から5月頃にはパブリックコメントを行う予定でございます。

この再生協議会の会議の資料等は、ホームページ「養老線ポータル」にて公表されています。

本年2月には、新たな事業形態に移行するため、近畿日本鉄道（株）に代わり第三種事業者となる「一般社団法人 養老線管理機構」を設立する予定となっております。

- ・養老鉄道の利用促進と交通結節点の整備として、美濃津屋駅に、駐輪場を今年度中に整備します。

- ・駒野駅につきましては、500m程距離はありますが、県道津島南濃線の南濃庁舎前信号交差点北側駐車を、養老線利用者に無料で利用できるよう地権者の了解を得られましたので、パークアンドライドの看板設置とPRを行っていきます。

- ・昨年の会議でご承認いただきました「かいづっち養老鉄道応援パスポート」ですが、平成 29 年度も引き続き実施していく予定です。

パスポートを利用し、城南中学校へ 200 名程の生徒が養老鉄道で通学しております。

- ・時刻表についてですが、携帯しやすい大きさのものとして、印刷し配布していきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

また、市内の観光地を、コミュニティバスを使って回れるチラシを商工観光課と連携し作成していきたいと考えています。

閉会

以上